

整理番号	47-4	事務事業名	スポーツ団体活動費補助事業	作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内 平一郎	課長職名	松尾 定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S61	根拠法令等	北広島市スポーツ活動補助金交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内において住民を対象として行なうスポーツ大会等に補助することにより、市民のスポーツ活動の振興を図る。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	スポーツとレクリエーション	(第5節)
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内において住民を対象として、スポーツの普及振興事業を積極的に計画又は実施している団体	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市内において住民を対象として行なうスポーツ大会等に補助することにより、市民のスポーツ活動の振興を図ることを目的とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	・「赤い羽根」ティール北の甲子園大会 ・北海道スキーマラソン ・北ひろしま歩くスキー大会(H13まで) ・札幌オープン雪合戦
		17年度	・「赤い羽根」ティール北の甲子園大会 ・北海道スキーマラソン ・札幌オープン雪合戦

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	1,200	1,200	1,200	1,200
	一般財源				
	合計	1,200	1,200	1,200	1,200
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		1,290	1,290	1,290	1,290

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	申請件数	3件	3件	3件	3件
	[各大会の助成金額]				
	ティール大会	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円
	スキーマラソン	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
	雪合戦	500,000円	500,000円	500,000円	500,000円
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	補助大会参加者総数	7,371人	9,397人	9,500人	9,500人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	大会参加者1人あたりコスト (総事業費/大会参加者数)	175円	137円	136円	136円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	大会会場確保の問題から補助対象事業の減少が考えられる。また、財政状況の厳しい状態が続き、補助基準を含めた見直しをしている市町村が見受けられる中、本市においても終期の設定を含めた事業の見直しをする必要が生じている。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民のスポーツ活動の振興や、健康・体力づくりの機会拡充は、行政が実施すべき課題であり、団体への補助による関与は妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	スポーツ大会への補助は市民のスポーツ振興を目的としており、妥当と考えられる。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市で直接行う事業には限りがあり、市民の主体的な活動を促進する観点からも、団体等が主催するスポーツ大会へ補助する手段は妥当と考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	大会規模に応じた補助限度額を定めており、その他の経費は主催団体で工面することとなり、受益者負担は妥当と考える。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	全道規模の大会を市内で行なうことにより多くの市民が参加でき、参加者数も増加していることから成果が上がっているものと考ええる。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	全道規模の大会を市が主催し行うことも可能だが、団体等が主催するスポーツ大会へ補助する方法は、最も効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	財政的に厳しい状況の中、補助金交付の終期設定や補助基準の見直しを検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり、補助金交付の終期を含めて補助基準など制度全体を見直すこと。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	47-4
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市スポーツ活動補助金		
交付先の名称及び代表者名	「赤い羽根」ティーボール北の甲子園大会 実行委員会 会長 宮北健一郎	設立年	平成7年
構成員(団体)数	50名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	知的障害者・障害者・健常者・高齢者のスポーツ振興と体育実技の習得に努め、健康増進、元気回復を図り、参加するすべてのみなさんとの相互の交流を深めるとともに、友愛の和を広げることが目的とする。		
交付先団体等の活動内容	・「赤い羽根」ティーボール北の甲子園大会の開催 (選手約1,000名、役員・ボランティア等約6,000名の参加)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	300,000	300,000	
	道補助金	3,000,000	3,000,000	
	その他補助金	1,700,000	2,350,000	
	寄附金	540,000	665,000	
	自己資金	580,000	720,000	
	繰越金			
	収 入 合 計(B)	6,120,000	7,035,000	0
支 出	大会運営費	864,339	1,588,137	
	競技運営費	4,977,056	5,104,204	
	広報事務局費	278,605	342,659	
		支 出 合 計(C)	6,120,000	7,035,000
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		5 %	4 %	#DIV/0! %
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費(食糧費・予備費等を除く)	事業費(食糧費・予備費等を除く)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		6,120,000	7,035,000	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		5 %	4 %	#DIV/0! %
補助・交付金の算出根拠	定額			

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	47-4
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市スポーツ活動補助金		
交付先の名称及び代表者名	北海道歩くスキー協会	設立年	昭和49年
構成員(団体)数	約500人 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	歩くスキーを通して、健康スポーツの普及を図る。		
交付先団体等の活動内容	・北海道スキーマラソンの開催 (スキーマラソン:30キロ、15キロ 歩くスキー:10キロ、5キロ 合計約1,000人が参加)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	400,000	400,000	
	参加料	2,379,500	2,510,500	
	負担金	7,500,000	7,500,000	
	協賛金	1,575,000	1,575,000	
	収 入 合 計(B)	11,854,500	11,985,500	0
支 出	賃金	803,250	813,750	
	謝金	670,000	670,000	
	旅費	182,680	165,690	
	需用費	557,811	560,518	
	委託費	6,006,984	6,109,007	
	使用料及び賃借料	1,775,122	1,773,765	
	役務費	392,700	395,160	
	報償費	977,471	1,008,134	
	その他(食糧費・予備費)	488,482	489,476	
	支 出 合 計(C)	11,854,500	11,985,500	0
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		3 %	3 %	#DIV/0! %
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費(食糧費・予備費等を除く)	事業費(食糧費・予備費等を除く)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		11,366,018	11,496,024	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		4 %	3 %	#DIV/0! %
補助・交付金の算出根拠	定額			

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	47-4
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市スポーツ活動補助金		
交付先の名称及び代表者名	Sapporo Open Yukigassen実行委員会 実行委員長 竹山克典	設立年	平成8年
構成員(団体)数	約120名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	冬期間のスポーツ、レクリエーションの活性化と地域振興を図るため雪合戦大会を開催する。		
交付先団体等の活動内容	・Sapporo Open Yukigassenの開催 (一般の部120チーム、レディースの部12チーム 合計約1,300人が参加)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	500,000	500,000	
	参加料	1,584,000	1,980,000	
	協賛金	3,551,500	2,998,570	
	繰越金	3,405		
	収 入 合 計(B)	5,638,905	5,478,570	0
支 出	消耗品費	1,217,699	1,286,250	
	食糧費	386,480	277,276	
	役務費	91,476	137,214	
	借上料	438,750	714,250	
	委託料	1,102,500	1,102,500	
	広告費	1,400,000	1,102,500	
	旅費	860,000	716,580	
	加盟料	132,000	132,000	
	雑費	10,000	10,000	
	支 出 合 計(C)	5,638,905	5,478,570	0
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		9 %	9 %	#DIV/0! %
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費(食糧費・予備費等を除く)	事業費(食糧費・予備費等を除く)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		5,252,425	5,201,294	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		10 %	10 %	#DIV/0! %
補助・交付金の算出根拠	定額			